



こうじ まさかず 小路正和県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043(227)7411

いすみ鉄道復旧に14億5千万円

運行再開

令和9年秋見込み



一般質問に臨む小路正和県議員

大原駅⇄大多喜駅

勝浦市、いすみ市、夷隅郡の振興に力を注いでいる小路正和県議員は6月定例会県議会で登壇し、いすみ鉄道の復旧、「茂原・一宮・大原道路」と「鴨川・大原道路」の整備、海業の推進などの地元の課題について県執行部に質問しました。脱線事故で、昨年10月以来運休しているいすみ鉄道ですが、小路県議員の質問に対し熊谷知事は、復旧へ関係4市町と連携しながら、しっかりと支援していくと答弁しました。小路県議員の質疑と県執行部の答弁を紹介します。

6月県議会一般質問

小路議員 いすみ鉄道は昨年、10月4日に発生した脱線事故のため、現在も運休が続いている。今月に入り、

熊谷知事 ようやく、いすみ鉄道から東側区間の復旧見通しが発表されたが、運行開始は2年半後の令和9年秋ごろで、費用は約14・5億円にも上るといふものだった。地域は、いすみ鉄道の復旧を待ち望んでいるが、一方で

県、運行再開を支援

これほどの費用と期間がかかるというのは、いつた、どのように見込まれたものなのか、具体的に確認しておく必要があると考える。

そこであらうが、いすみ鉄道から県や市町に示された復旧費用や期間は、具体的にどのような内容なのか。

総合政策部長 いすみ鉄道については、今般、同社から

大原駅から大多喜駅までの東側区間の復旧費用や期間の見通しが示されました。同社によると、復旧までに要する約14億5千万円のうち、工事費用が約10億円、運休期間中の代行バス費用が約4億5千万円となっている。具体的には、事故現場だけでなく該当区間の全体にわたって、レールの整備はもとより、木製の枕木のコン

クリート化や碎石の交換など、部材から見直して安全性の水準を高めることとされています。

こうした全面的な整備を行い、事故の再発防止に万全を期すためには、約2年3か月の工期を要し、その後の検査や試験走行等に必要な期間を考慮すると、運行再開は令和9年秋頃になるものと見込まれます。

再質問 小路議員 いすみ鉄道の大多喜駅から西側の区間については、今後、どのように対応していくのか。

総合企画部長 西側区間については、まずは、復旧にかかる費用や期間を調査することとされています。

要望 小路議員 いすみ鉄道について、東側はもちろん、西側もよりよくお願いしたい。

御宿駅のバリアフリー化 御宿町とJRが協議

小路議員 御宿駅のバリアフリー化に向けた県の取組状況はどうか。

総合企画部 鉄道駅のバリアフリー化は、高齢者や障害者をはじめ、全ての方が鉄道を安心して、円滑に利用するために重要であることから、県では、市町村に対し、エレベーターの設置などにかかる経費の一部を補助しています。

また、JRに対しては、県や沿線市町村等で構成する千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、御宿駅のバリアフリー化を図るよう要望しており、引き続き、関係者と連携を図ってまいります。

要望 小路議員 駅構内に踏切を新たに設置し、ホームに上がるためのスロープを設置する案もあるようだが、踏切を新設するには、別の踏切を廃止する必要があるとJRは言っているとのこと。

駅までの東側区間を優先することとし、詳細な調査や施工計画の検討が進められてきたところである。

今回いすみ鉄道から示された東側区間の復旧費用は、約14億5千万円と多額に上りますが、県としては、一日も早く安全・安心な鉄道として復旧することが重要であ

活用も視野に、御宿駅のバ

り

いずれにしても、県には、御宿駅のバリアフリー化の内容が具体化した際には、補助金等の支援をしていただくよう要望する。

外房地域の骨格形成

茂原・一宮・大原道路 鴨川・大原道路

小路議員 早期の実現を要望

小路議員 2つの期成同盟会を沿線12市町村で一本化し、2つの期成同盟会が設立されるなど気運が非常に高まっている「茂原・一宮・大原道路」及び「鴨川・大原道路」の取組状況はどうか。

県土整備部長 圏央道の整備効果を外房地域へ広く波及させるためには、「茂原・一宮・大原道路」や「鴨川・大原道路」などの外房地域の

骨格を形成する道路の整備が重要であると認識しています。

「茂原・一宮・大原道路」については、現在、長生グリーンラインとして、県道茂原大多喜線から一宮町までの区間で橋梁工事や道路の予備設計などを実施しています。

また、「鴨川・大原道路」を含む一宮町から鴨川市までの

一宮町までの区間で事業が進められているが、一宮町から鴨川市までの計画が具体化されていない状況。

能登半島地震では道路の

寸断により孤立集落が発生しており、国道128号も一宮町から鴨川市を結ぶ唯一の幹線道路となっているため、沿線地域では防災力

の観点からも早期の整備を強く望んでいる。

しっかりと取り組んでいただき早期の実現を要望する。

台風被害の栗又の滝遊歩道 復旧、着々と進む

小路議員 養老溪谷内の栗又の滝遊歩道は令和5年9月の台風13号に伴う大雨により、遊歩道が大きな被害を受け、全面復旧には相当の時間がかかるというところだ。一日でも早い復旧が必要と考えるが、現在の復旧

状況はどうか。

環境生活部長 栗又の滝周辺では、令和元年度以降、大雨等による法面崩壊が度々発生しており、特に令和5年9月の台風13号の接近に伴う大雨により、遊歩道にも大きな被害が生じて

水産系高校 遠隔地からの生徒 受け入れ態勢推進

小路議員 水産系高校における遠隔地からの生徒受け入れに、どのように取り組んでいくのか。

教育長 遠隔地からの生徒受け入れにあたっては、生徒が安心して学ぶことができる環境づくりと、それを支える地域の連携体制が重要となることから、本年2月に、地元市や地域関係者の参加のもと、他県における受け入れ事例等を学べるセミナーを開催したところです。

セミナーの参加者からは、「受け入れに向けて県と共通認識を持つことができた」、「遠隔地から受け入れた生徒により、地元の生徒も刺激を受けるプラス面を知ることができた」などの声があったところです。

今年度からは、遠隔地からの生徒の受け入れや、水産系高校の魅力向上等で実績のある専門家を新たにアドバタイザーとして配置し、県教育委員会と高校が、地元市

や地域関係者等と一体となった検討を進めてまいります。

要望 小路議員 水産系高校の遠隔地募集について、推進していただいて、非常に地域としても期待が持てる。

地域の活性化策として、高校の存続と遠隔地募集は非常に期待して、大切なものであると思うので、確実に推進していただくよう要望する。



議場の自席で再質問する小路県議

海、漁村の魅力活用

夷隅地域、海業を推進

小路議員 夷隅地域における海業の推進に向けて、どのように取り組んでいくのか。

農林水産部長 夷隅地域

人々が訪れるきっかけとなる魅力的な地域資源に恵まれています。

一方、海業の推進に当たっては、漁業関係者だけでなく、観光協会や商工会などの他分野との連携が不可欠であり、勝浦市ではこれらの関係者を構成員とする協議

会が設立され、具体的な検討が進んでいるところです。

県としては、千葉県海業推進基本構想の理念を基に、漁協や市町などの関係者と連携しながら、夷隅地域における事業計画の策定や具体化を支援するなど、漁業者の所得向上や地域のにぎ

●いすみ市と県政に関するご意見をお寄せください

小路正和

県議事務所

〒298-0004 千葉県いすみ市大原8654

TEL・FAX 0470-62-5802

要望

小路議員 栗又の滝は養老溪谷における誇るべき地域資源であり、県の新たな観光施策が今回の補正で動き出すことに合わせ、遊歩道の復旧もしっかりと両立させて進めていただくよう要望する。

要望

小路議員 海業にたいしては、勝浦や旭館山が始まっているが、夷隅、御宿、あるいは九十九里等でも可能性は十分にあると思うので、推進をお願いする。